

# もったいないが合い言葉 「食品ロス」削減から取り組むごみの減量化

市では、1人1日当たりのごみ排出量 **870g** 以内を目指しています

岩沼市民1人1日当たりのごみ排出量 (g/人・日)		
平成23年度	平成28年度	平成37年度 (目標年度)
1,063g	942g	870g

(平成28年度総排出量15,241ト/人口44,332人/365日=942g)

※100gは、卵2個分に相当します。家庭の生ごみの80%は水分で、実は、水を切るだけでごみの減量になります。私たちの日常生活からは、売れ残りや食べ残しなど大量の「食品ロス」が発生しています。「食品ロス」の削減には、私たち一人ひとりがもったいないの気持ちを持って、身近なことから取り組むことが重要です。

## ■「食品ロス」とは

「食品ロス」とは捨てられてしまう食品のことで、食品の製造、流過程から発生するものや家庭や飲食店での食べ残しや作り過ぎた料理などが挙げられます。

## ■「食品ロス」の現状 ～「食品ロス」の半分は家庭から～

**1日134g (茶わん1膳分のご飯に相当する量) が捨てられています。(国民一人当たりで換算)**

国内で1年間に発生する「食品ロス」は621万トで、1年間に使われる食材(食品資源)8,294万トの約7.5%に当たります。「食品ロス」621万トのうち、外食産業や小売業などの事業者からの排出は339万ト、家庭からの排出は282万トと、事業者と家庭がそれぞれ約半分を占めています(平成26年度農林水産省推計)。

## 身近なことからやってみよう! 「食品ロス」削減のための取り組み例

### 家庭編

- 食材を買い過ぎず、買った食べ物は使い切るようにしましょう
- 期限表示が早いものから使用しましょう
- 料理は食べられる量だけ作るよう心掛けましょう
- 野菜や果物の皮は厚むきしないようにしましょう



### 外食編

- ちょうどよい量を注文するように心掛けましょう
- 「3010運動」を実践しましょう

「3010運動」とは食べ残しを減らすための運動で宴会の乾杯後30分間、お開き10分前は料理を楽しむことで、「食品ロス」削減を目指すものです。



問/生活環境課 (☎内線333)

### 人口と世帯

(30年7月末現在)

住民基本台帳人口	
男 21,807人 (-4)	
女 22,431人 (-14)	計 44,238人 (-18)
転入 134人	転出 148人
出生 28人	死亡 32人
世帯数 17,669世帯 (-20)	

( ) 前月比

### 火災と救急

(30年7月中)

〈火災〉	1件	〈救急〉	192件
建物	1件	交通事故	9件
車両	0件	急病	123件
林野	0件	一般負傷	20件
その他	0件	転院	31件
		その他	9件
		火災	0件

### 市内の交通事故件数

(30年7月末現在)

	7月中	1月からの累計	前年累計比
人身事故	8件	74件	-39件
死亡	0人	0人	-1人
負傷者	12人	98人	-46人

(岩沼警察署調べ)